

本体



固定ネジ×5



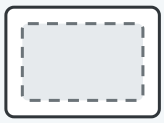
予備ネジ×4



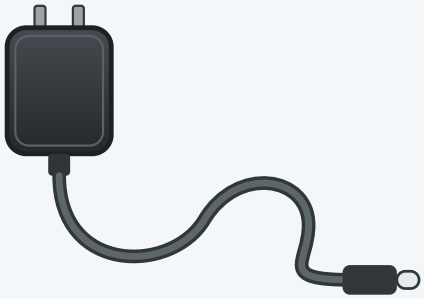
木ネジ×2



防水シール



両面テープ



アダプター　ケーブル3m

INSTALLATION GUIDE

QR1 LE の取り付け

QR1 を扉の横の壁に固定し、給電するまでの手順です。接続する機器（PiACK II・BR1 など）の設置とあわせて行います。

MODELS
BCL-QR1 LE

DOCUMENT NO.
KV-H02

REVISED
2026年11月6日

WEB MANUAL

ABOUT THIS GUIDE

このマニュアルについて

QR1 を扉の横の壁に固定し、給電するまでの手順です。接続する機器（PiACK II・BR1 など）の設置とあわせて行います。

取り付け　QR1 LE

目安時間

約30分

用意するもの

- プラスドライバー
- 両面テープ または 木ネジ
- 拭き取り用の布
- 配線モール（必要に応じて）

始める前に

- 同梱物がそろっていること
- 給電方法（コンセント／BR1 経由／WD1 経由／電池）を決めていること

目次

—	ご使用上の注意	3
01	同梱物を確かめる	4
02	本体を準備する	4
03	給電方法と配線ルートを決める	5
04	鉄板を壁に取り付ける	8
05	ケーブルを本体につなぐ	9
06	本体を鉄板に固定する	11
07	電源を入れる	11
08	仕上げ	13
付録	製品仕様	14

記号の見方

注意 必ず守ること

守らないと、故障・やり直し・思わぬ動作につながることがあります。

補足 知っておくと役立つこと

作業のコツや、状況によって変わる点を説明します。

図の青い部分

作業する人が行う動きと、注目する場所を青で示します。

手順は改良に合わせて更新しています。最新版は表紙の QR コード、または keyvox.co/manuals/qr1-install からご覧いただけます。

SAFETY & HANDLING

ご使用上の注意

安全に、長くお使いいただくための注意事項です。取り付けの前に必ずお読みください。

警告
守らないと、火災・感電・けがにつながるおそれがあります。

注意
守らないと、故障や、解錠できなくなる原因になります。

お願い
長く安心してお使いいただくために。

警告 安全のために必ず守ること

- 本体・AC アダプターを分解・改造・修理しないでください。
- 付属の AC アダプターと専用ケーブル以外は使わないでください。指定の電圧以外で使うと、発熱・故障の原因になります。
- 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。ケーブルを傷つける・無理に曲げる・重いものを載せることも避けてください。
- 煙が出る・異臭がする・異常に熱いときは、すぐに電源（AC アダプター・電池）を外し、サポートへご連絡ください。
- 電気錠・自動ドアの制御盤への配線は、電源を切った状態で、電気工事の知識のある方が行ってください。

注意 非常時の備え

- 電池切れ・停電・通信の不調・故障に備えて、物理鍵などの非常用の解錠手段を必ずご用意ください。物理鍵は室内に置いたままにせず、すぐ取り出せる場所で保管してください。
- 電気錠・自動ドアでは、解錠できなかった場合の解錠方法（非常用の解錠ボタンなど）を、メーカーまたは施工店と相談のうえご用意ください。
- 管理者暗証番号は第三者に知られないように管理し、初期の番号のまま使わないでください。

注意 設置する場所

- 仕様に記載の温度・湿度の範囲で、直射日光が当たらず、結露・氷結しない場所に設置してください。
- BR1・WD1 には防水性能がありません。屋内に設置するか、屋外では防水ボックスに収めてください。
- QR1 LE・BX1 は防水（保護等級5）ですが、水没や高圧洗浄には耐えません。BX1 の防水は扉を閉じた状態に限ります。
- Bluetooth・Wi-Fi は、金属の扉・コンクリートの壁・分電盤などで弱くなります。機器どうしは見通し 2m 以内を目安に設置してください。
- 電子レンジや他の無線機器の近くでは、通信が不安定になることがあります。

注意 電池について

- 新しい単三形アルカリ乾電池を使い、＋と－の向きを確かめて入れてください。
- 新旧の電池、種類やメーカーの違う電池を混ぜて使わないでください。交換するときは全部を同時に替えてください。
- 電池残量の通知が届いたら、早めに交換してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。
- 液漏れした電池には素手で触れず、拭き取ってから新しい電池に交換してください。

お願い 日常のお手入れ

- 汚れは、乾いたやわらかい布か、水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。
- シンナー・ベンジン・アルコールなどの溶剤や、研磨剤は使わないでください。表面や文字が傷みます。
- QR コードの読み取り窓とキーパッドは、汚れや水滴が付いたままにしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

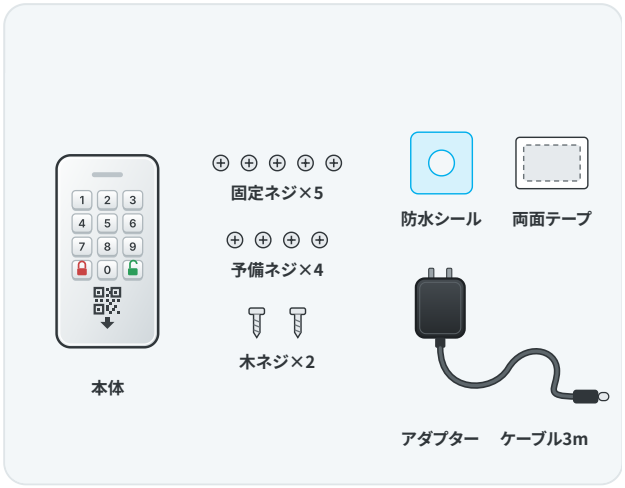
お願い ご利用にあたって

- ファームウェアとアプリは最新の状態でお使いください。動作の安定化や不具合の修正が含まれます。
- 機器を譲渡・廃棄するときは、アカウントから機器を削除し、初期化してください。
- 廃棄するときは、電池を取り外し、お住まいの自治体の区分に従ってください。
- 保証の期間と条件は、製品に同梱の保証書をご確認ください。

STEP 01
1 同梱物を確かめる

1.1 同梱物を確かめる

1. QR1 本体（背面に鉄板が付いています）を確かめます。
2. 本体を鉄板に止めるネジ5本（うち3本は予備）と、内部基板用の予備ネジ4本を確かめます。
3. 鉄板を壁に止める木ネジ2本、防水シール、壁に貼る両面テープを確かめます。
4. AC/DC アダプターと USB ケーブル（3m、壁側が USB Type-A、本体側が Type-C）を確かめます。



> ⚠ **注意** コンセントボックスやハサミ金具に止めるネジは同梱されていません。現場に合わせて用意してください。

1.2 必要に応じて別売品を用意する

付属の 3m ケーブルでコンセントまで届かない場合は、QR1 用 6m 電源アダプターを用意します。

STEP 02
2 本体を準備する

2.1 鉄板（ブラケット）を外す

箱から本体を取り出し、背面に付いている鉄板を外します。鉄板は上部のツメで本体に掛かっているので、引っ張って外します。鉄板は先に壁へ固定します。



2.2 電池カバーを外す

背面下部のネジ1本をドライバーで外し、上部のツメを外して電池カバーを開けます。QR1 LE を電池で使う場合は、ここで単三電池4本を入れます。



STEP 03

3 給電方法と配線ルートを決める

QR1 の電源の取り方は4通り（コンセント・BR1 経由・WD1 経由・電池）です。鉄板を貼る前に、ケーブルをどこから通すか決めておきます。

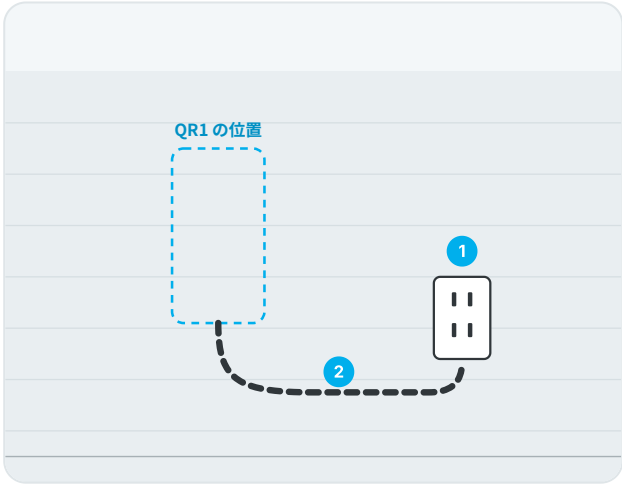
設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **コンセントから**

3.A1 コンセントまでの配線ルートを確認する

1. コンセントの位置を確認します。
2. QR1 からコンセントまで、ケーブルをどこに通すか決めます。

> **補足** 付属のケーブル（3m）で届かない場合は、QR1 用 6m 電源アダプターを使えます。扉の下を通して、室内のコンセントまで配線することもできます。

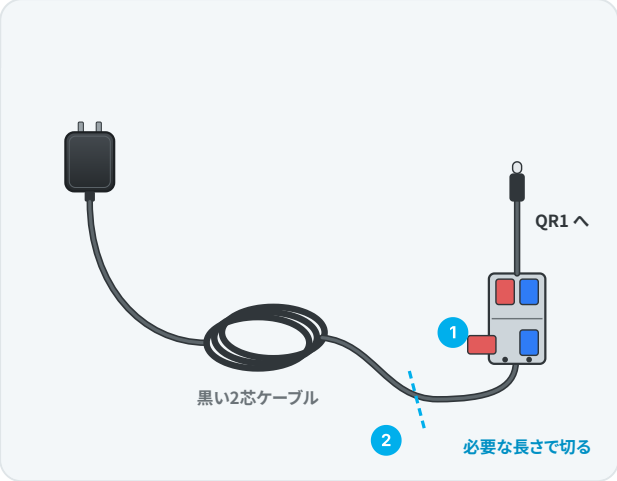


B PATTERN 6m 電源アダプター

3.B1 ケーブルを必要な長さで切る

6m 電源アダプターは、途中のレバー式コネクタで切った線をつなぎ直して使います。

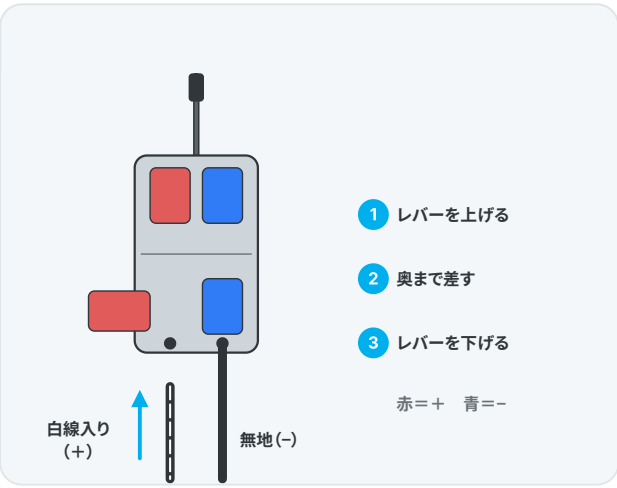
1. コンセントから QR1 までに必要な長さを確かめます。
2. コネクタのアダプター側（下段）の赤と青のレバーを90度上げ、線を抜きます。
3. 黒い2芯のケーブルを、必要な長さで切ります。



3.B2 切ったケーブルをコネクタに差し直す

1. 白い線が印刷された線を、赤いレバー（＋）の側に奥まで差し込み、レバーを下げます。
2. 無地の黒い線を、青いレバー（−）の側に奥まで差し込み、レバーを下げます。
3. 線を軽く引っ張り、抜けないことを確かめます。

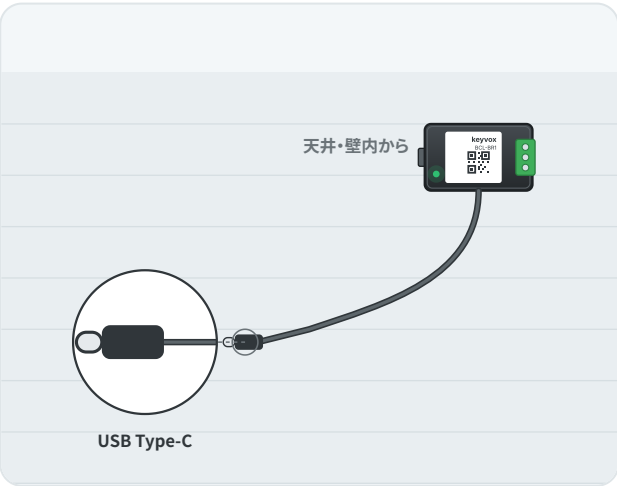
> ⚠ **注意** ＋と−を逆にしたり、線同士をショートさせたりしないでください。



C PATTERN BR1 経由

3.C1 BR1 から来ている USB ケーブルを確認する

電気錠・自動ドアの扉では、BR1 から配線された USB ケーブルで QR1 に給電します。ケーブルの先端が USB Type-C であることを確認します。

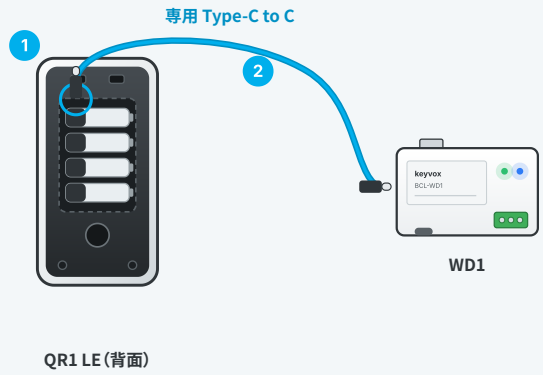


D PATTERN WD1 経由

3.D1 WD1 から来ている USB Type-C ケーブルを確認する

WD1 を使う扉では、WD1 付属の専用 USB Type-C to C ケーブルで QR1 LE に給電し、通信もこのケーブルで行います。両端が USB Type-C であることを確認します。

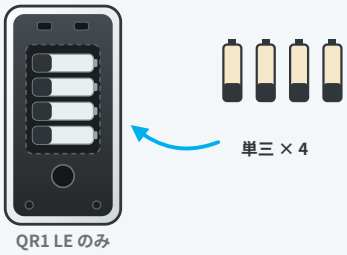
> ⚠ **注意** 市販の USB Type-C ケーブルは使えません。必ず WD1 に付属の専用ケーブルを使います。



E PATTERN 電池

3.E1 単三電池4本で動かす

QR1 LE は単三電池4本で約半年動きます。配線が不要なので、次の「鉄板を壁に取り付ける」でケーブルの穴を気にせず貼れます。



STEP 04

4 鉄板を壁に取り付ける

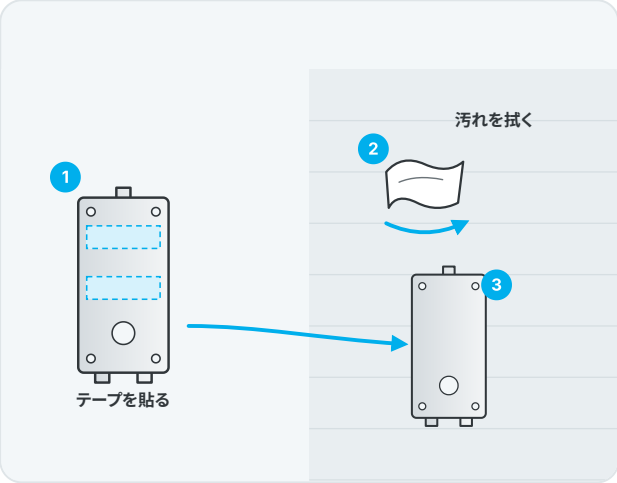
取り付ける面に合わせて方法を選びます。鉄板は平らな面を壁側にします。ケーブルを使う場合は、どの方法でも鉄板の中央の穴に通してから固定します（壁側に来るのは USB Type-A の大きい方の端子です）。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN 両面テープ

4.A1 両面テープで貼る

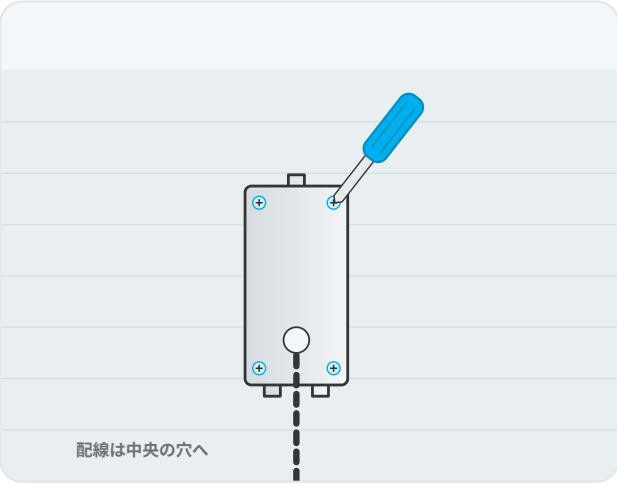
1. 鉄板の外側に両面テープを貼ります。
2. 配線ルートに合わせて、中央の穴にケーブルを通します。
3. 取り付ける壁の汚れを拭き取ります。
4. 鉄板を壁に貼り付けます。



B PATTERN ネジ止め

4.B1 壁にネジで止める

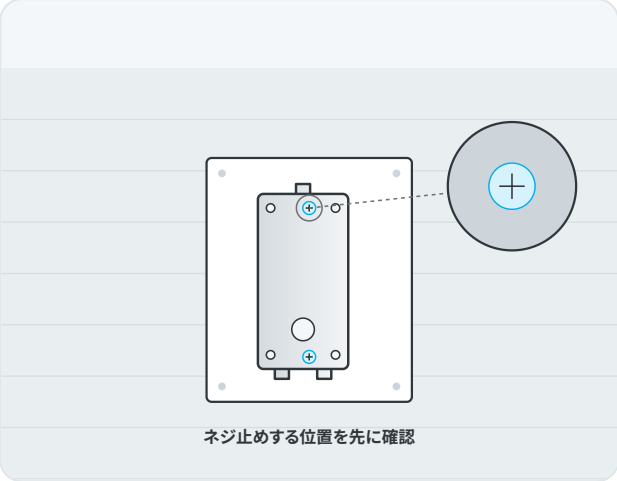
1. 配線ルートに合わせて、中央の穴にケーブルを通します。
2. 取り付ける壁の汚れを拭き取ります。
3. 四隅の穴で鉄板を壁にネジ止めします。



C PATTERN **ボックス・金具**

4.C1 コントロールボックスやハサミ金具に止める

1. ネジ止めできる位置を先に確認します。
2. 配線ルートに合わせて、中央の穴に USB ケーブルを通します。
3. 鉄板をボックスにネジ止めします。



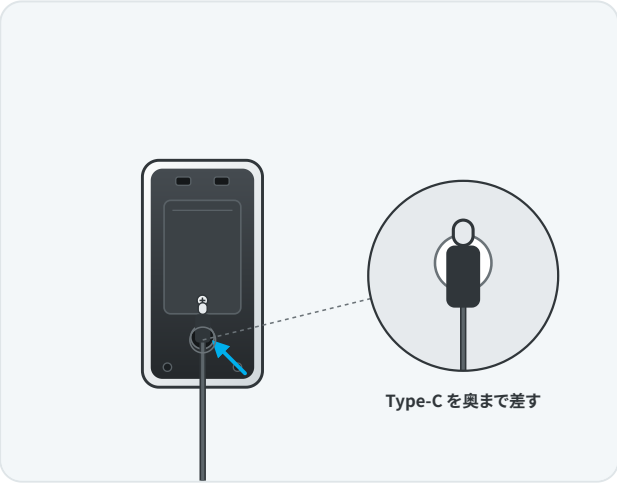
5 STEP 05 ケーブルを本体につなぐ

電池だけで使う QR1 LE はこの章を飛ばします。

5.1 USB Type-C を差し込む

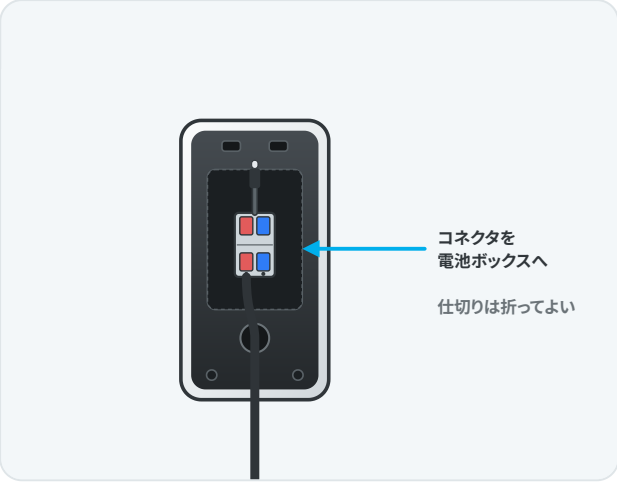
差し込み口は、本体背面の電池ボックスの上にあります。USB ケーブルの Type-C 端子を奥まで差します。

> **補足** QR1 LE も、ケーブルをつなげば電源で動かせます。



5.2 6m 電源アダプターのコネクタを収める（使う場合のみ）

1. レバー式コネクタを、電池ボックスの中に収めます。
2. 電池ボックスの仕切りが邪魔な場合は、折って構いません。
3. コネクタを収めたまま、Type-C を差し込みます。

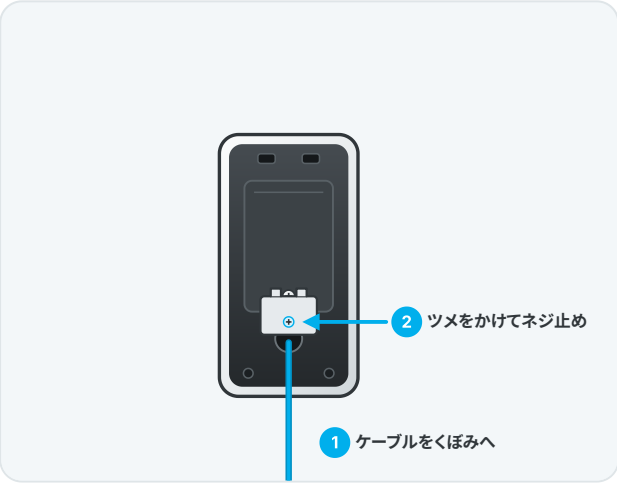


設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN 本体の下から出す

5.A1 ケーブルを下のくぼみに通す

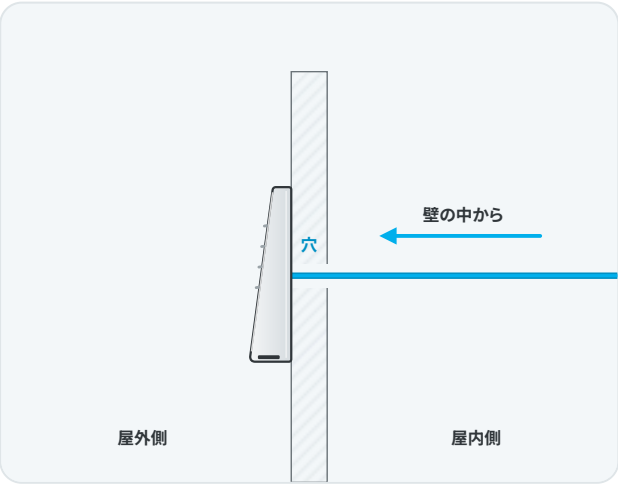
1. ケーブルを本体下部の配線用のくぼみに入れます。
2. 内側の鉄板のツメを掛けて取り付けます。
3. 内側の鉄板をネジ止めします。



B PATTERN 壁の裏から引き込む

5.B1 壁の穴から本体の裏へ通す

1. 壁に USB ケーブルを通す穴を開けます。
2. ケーブルを穴に通します。
3. 内側の鉄板（電池カバー）の中央のゴムを破り、ケーブルを通します。
4. 内側の鉄板のツメを掛けて取り付けます。
5. 内側の鉄板をネジ止めします。



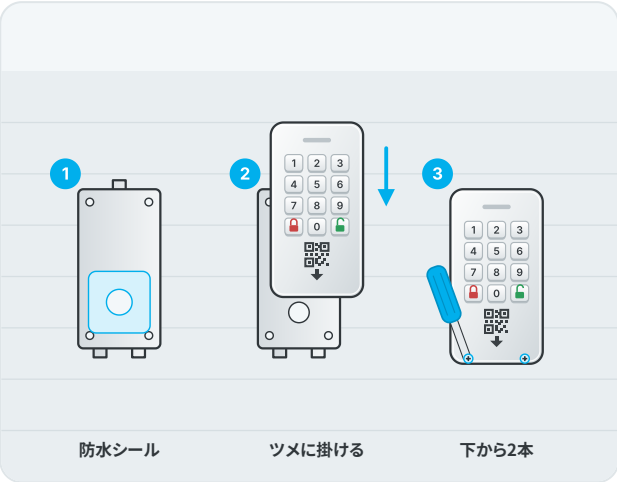
STEP 06

6 本体を鉄板に固定する

6.1 防水シールを貼り、ツメに掛けてネジで止める

1. 鉄板の中央の穴に合わせて防水シールを貼ります。
2. 鉄板のツメ（上に1か所、下に2か所）を本体裏側の穴に入れて掛けます。
3. 下から見て鉄板の穴と本体の穴がずれないよう、本体を押さえます。
4. 本体下部の穴から、2本のネジで固定します。

> ⚠ **注意** 防水シールは、本体がぐらつかないよう固定する役目もあります。必ず貼ってください。



STEP 07

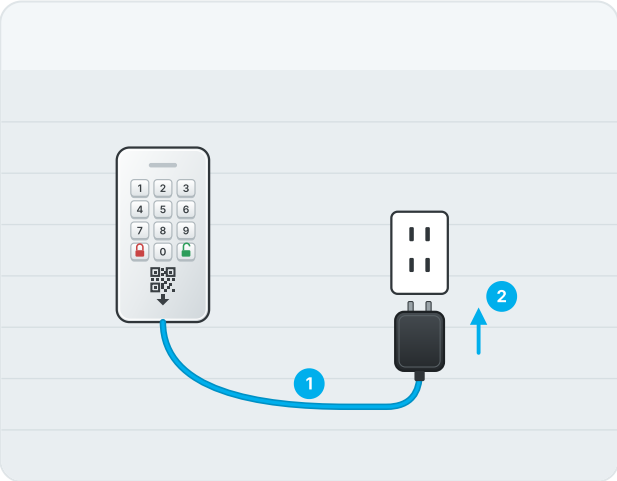
7 電源を入れる

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **コンセントから**

7.A1 AC アダプターにつなぐ

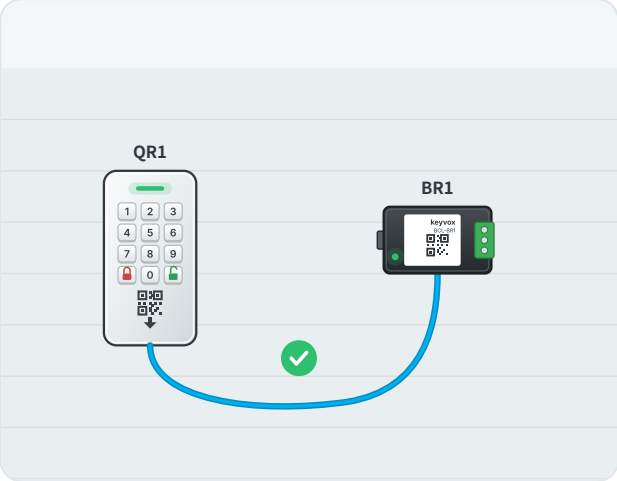
1. USB ケーブルと AC アダプターをつなぎます。
2. AC アダプターをコンセントに差します。



B PATTERN BR1 経由

7.B1 BR1 とつながっていることを確認する

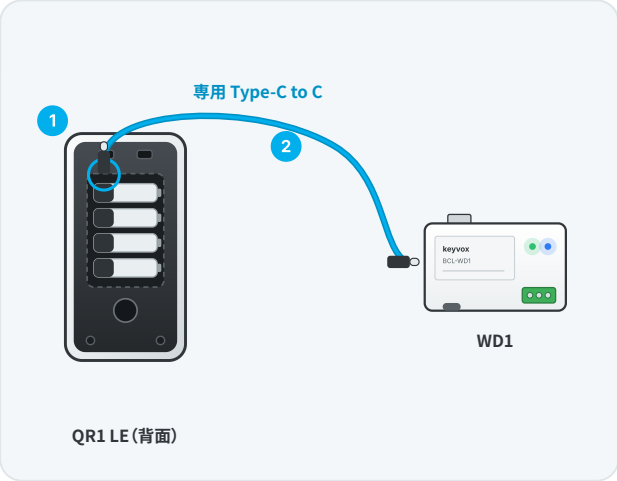
USB ケーブルで BR1 と QR1 がつながっていれば、BR1 から給電されます。



C PATTERN WD1 経由

7.C1 WD1 とつながっていることを確認する

1. 専用の USB Type-C ケーブルで WD1 と QR1 LE がつながっていることを確かめます。
2. WD1 に電源（AC アダプターまたは PoE）が入っていれば、WD1 から QR1 LE に給電されます。



STEP 08
8 仕上げ

8.1 配線をモールで覆う

露出した配線は、必要に応じて配線モールで覆います。



動画で見る

取り付けの一連の流れ	youtu.be/9XzJ-BFTzB4
動画マニュアル #1 QR1 の取り付け方	youtu.be/-s9iSlDUFRs
動画マニュアル #2(1) QR1 LE の給電方法（Type-C・壁穴なし）	youtu.be/D5rODQqtcZ4
動画マニュアル #2(2) QR1 LE に給電する（Type-C・壁穴あり）	youtu.be/ZYJOH0ue_-4
動画マニュアル #2(3) QR1 LE に給電する（単三電池）	youtu.be/TMfgjup2HTU
動画マニュアル #3 ブラケットに QR1 LE を取り付ける	youtu.be/kEqL2kLd9Go

次にやること（構成に合うものを選びます）

PiACK II の取り付け（本締錠）	keyvox.co/manuals/piack-install
電気錠・自動ドアに BR1 をつなぐ	keyvox.co/manuals/br1-install
電気錠・自動ドアに WD1 をつなぐ	keyvox.co/manuals/wd1-install

APPENDIX — SPECIFICATIONS

製品仕様

・極端な高温多湿の場所や海岸沿いなど、特殊な環境でのご利用を想定される場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
・仕様は改良のため予告なく変わることがあります。

BCL-QR1 LE

KEYVOX QRリーダー・キーパッド

寸法	W73.9 × L134.5 × D57.1 mm
製品重量	325g
材質	ボディ：プラスチック／ブラケット：鉄
耐熱・耐湿度性能	-20°C～50°C（直射日光を受けないこと）／湿度20%～90%（結露・氷結のないこと）
防水性能	JIS C0920 保護等級5
電気定格	5V 1A（100V 用の AC/DC アダプター付属）／単三電池4本（別売り）
電源コード	USB Type-A to C ケーブル 3m 付属
付属品	AC/DC アダプター、USB Type-C ケーブル（3m）、ブラケット、保証書、QRリーダー場所表示用シール、ブラケット固定用木ネジ（コンセントボックス・はさみ金具用のネジは同梱されません）

SUPPORT

手順でわからないことは、
サポートまでご連絡ください。

取り付け後の確認のご依頼や、機器の動作でお困りのときも、サポートポータルからお問い合わせいただけます。

サポートポータル

お問い合わせ・取り付け確認のご依頼

support.keyvox.co

Web 版マニュアル

最新の手順・PDF のダウンロード

keyvox.co/manuals

・本書の内容は改訂日時点のものです。製品の改良により、仕様・画面・手順は予告なく変わることがあります。
・本書の図はイラストです。実際の製品と細部が異なる場合があります。
・記載の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

keyvox
ブロックチェーンロック株式会社

KV-H02　REV. 2026.11.06
© 2026 ブロックチェーンロック株式会社